



No.48 (2014.8)

地域と結ぶ

# 順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの  
心と身体のオアシスで  
ありたいと願っています。  
何なりと  
ご相談ください。

# 夜尿症について

小児科 大友義之

「小学生になってもおねしょが治らず困っていませんか？」

小学校入学の時点で一ヶ月に数回以上おねしょがある場合、一度受診をお勧めします。「成長と共に自然に解消するだろう」・・・これは間違いではありません。1年ごとに10～15%の頻度で自然軽快することが知られてはいます。ただ、昼間もおもらしがみられたり、おねしょも毎日というお子さんの場合は中学生以降まで続く可能性が高いです(成人では200人に1人の頻度で夜尿が続いています)。また、稀ではありますが、おねしょの原因として、腎臓や脳神経の病気、糖尿病や注意欠陥多動障害などの疾患、慢性の便秘症が関わっている可能性もあります。



先任准教授 大友 義之

日本では小・中学生の約80万人が夜尿が続いているとされています。当院では開院以来約500名の子どもたちの診療を行ってきました。「夜尿は病院で相談できることを知りませんでした」という声をよく伺います。規則正しい生活や夜間の飲水・塩分の摂取制限などの簡単なアドバイスのみで夜尿が解消することもしばしばあります。尿量や膀胱の機能を調節する、数種類の副作用の極めて少ない薬物治療によって治療率が飛躍的に向上しました。就寝中におねしょアラームを用いた治療も適切なアドバイスにより効果的に行えます。国内外の研究データによると、夜尿症は、両親の離婚や争いに次ぐ、精神的なトラウマの原因とされています(学校でのいじめより上位です)。

私が作成に関わったウェブサイト([www.onesho.com](http://www.onesho.com))をまずご覧ください。最新の治療など参考になる情報が得られると思います。



おねしょ、スッキリ!

小学生になったら、夜尿症治療を。

# 熱中症とその予防

救急・集中治療科 科長 杉田 学

暑い日が続き、今年も熱中症がマスコミを賑わしてきています。

今回は熱中症の予防のために考えることをお届けします。



科長 杉田 学

## ○どんな人が熱中症になりやすいのですか？

熱中症になりやすい環境として、高温多湿があります。もともと日本の夏は湿度が高いため、猛暑では発症数が多くなります。高齢の方や小児・幼児は体温の調節に不利なことが多いため、発症しやすいことがわかっています。炎天下で働いたり、激しい運動をしたりする方は若年といえども注意してください。また抗てんかん薬や、睡眠薬などの向精神薬、アルコールを飲んでいる状態も熱中症を起こしやすいと言われていています。

## ○熱中症を予防するためには？

室内では扇風機、エアコンを使用して環境を整えることが必要です。外出する際には日傘や帽子、通気性のある衣服を身につけるなどの工夫も有効です。暑い日にはのどの渇きを感じなくても、こまめな水分補給を心がけてください。

## ○熱中症かなと思ったら…

まず屋外なら木陰や日陰のある風通しの良いところに移り、衣服を脱がせて薄着にします。水分の補給が必須で、スポーツドリンクの様な塩分を含んだものが有効ですが、スポーツドリンクは糖度が高いため、大量に飲ませると高血糖になる恐れもありますので注意してください。近年、経口補水液（ORS）という、点滴の組成に似たものが市販されており、熱中症の初期症状には有効と考えられます。当院の救急外来と化学療法室の間にある自動販売機にも入っていますので、ご覧ください。

症状がすぐに改善しない場合や、意識がもうろうとしているとき、歩けない場合にはすぐに医療機関を受診しましょう。当院では 24 時間体制で救急患者を受け入れていますので、受診を希望される方は救急外来受付まで電話で連絡してください。



# 軽井沢研修セミナー開催

平成 26 年 6 月 6 日 (金) ~ 7 日 (土) の両日、練馬区立少年自然の家「ベルデ軽井沢」で、恒例の第 7 回軽井沢セミナーを開催いたしました。浅間山を望む大自然の中、テーマは「チーム練馬・団結と癒し」、新人研修医 28 名、新人看護師 53 名に加え、今年から新人薬剤師 4 名、新人理学療法士 5 名も参加し、指導医、スタッフ合わせて総勢 140 名のビッグ・イベントになりました。1 日目は外部講師を招いた合同研修、2 日目は職種ごとのスキルアップ研修というプログラムです。

臨床研修センターでは指導医と研修医がマンツーマンとなり、日頃院内ではトレーニングしづらい 5 つのスキル・ステーション(基本手技、初期治療など)で参加型体験研修を行い、充実した 1 日を過ごすことができました。



練馬区立少年自然の家「ベルデ軽井沢」



研修を通してコミュニケーションも深まりました!!

## 【第 1 日目】 外部講師による講演



仁邦法律事務所 桑原博道顧問弁護士  
「新入職員の皆さんへ；弁護士の立場から」



練馬区富田地域医療企画調整課長  
「練馬区の災害時医療救護体制について」

## 【第 2 日目】 スキルステーション(5つのテーマに沿って研修を行いました)



「腹部エコー実習」



「四肢のギプス固定法」



「英語塾・入門」



「縫合・CV・針生検・気管挿管」



「モニター付き除細動器を使い倒す!」

# 新人看護師 軽井沢セミナー

## 看護部

練馬区立少年自然の家“ベルデ軽井沢”で、「チーム練馬病院“団結と癒し”」をテーマに1泊2日の研修を行いました。練馬病院には地域に根差した高度医療を学びたいと全国から看護師が集まってきます。今回の研修では、練馬区の災害時医療体制や医療安全の基本についての学びを深めました。また、2日間を通し、他職種と協働やチームの大切さを実感しました。



ベルデ軽井沢



グループワーク



講義風景



プレゼンテーション



患者体験と介助の方法について考える



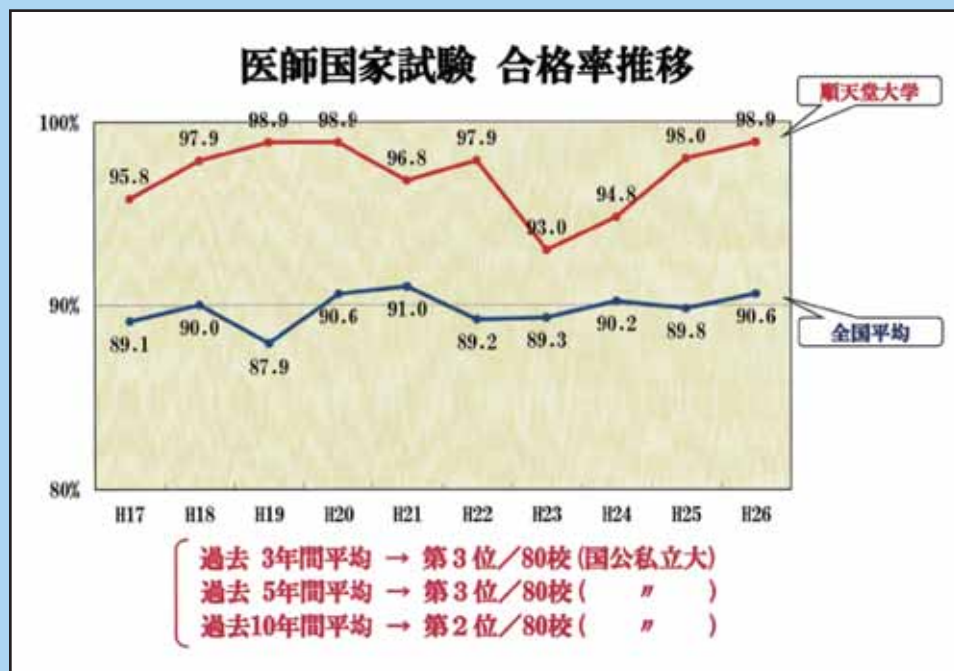
有意義な時間を過ごしました



理学療法士より「摂食・嚥下」について学ぶ  
※嚥下:のみくだくこと



# 2014年医師国家試験結果



厚生労働省は3月18日、第108回医師国家試験の合格者を発表しました。今回の試験は、全国の国公立大学の卒業生計8,632人が受験し、男性5,337人、女性2,483人の計7,820人が合格となっています。

全体の合格率は90.6%、新卒に限った合格率も93.3%で、ともに前年より0.8ポイント上がったなか、大学別の合格率で本学は98.9%で、80校中第3位という結果になりました。過去10年間の平均においても全国平均を大きく上回っており、80校中2位と安定的に高い合格率を維持しています。

# 区民健康医学講座のご案内



順天堂大学練馬病院では一般の方を対象にした講演会を開催しています。

6月28日（土）には「夏に多いこどもの病気と事故 ～夏を楽しく過ごすために～」と題し、小児科専門の看護師2名による講演を行いました。

次回は10月・11月・12月に3回シリーズで開催予定です。詳しくは9月21日（予定）の「ねりま区報」に掲載されます。

皆さま奮ってご参加ください！

